

発電機コントローラフラット、GC-1F

完全なディーゼルエンジン保護&制御



発電機コントローラフラット (GC-1F) はマイクロプロセッサベースの制御ユニットで、ディーゼルエンジンの保護と制御を行う完全な機能が装備されています。

ユニットには発電機と電源用の3相AC電圧測定回路と、すべての値とアラームを表示するグラフィックディスプレイがあります。

GC-1Fには多数のさまざまなオプションが選択でき、堅牢なハードウェアは非常用電源から発電所にいたるアプリケーションに適しています。そのため、トレーニングとメンテナンスのコストを削減できます。

モデムまたはAOP-2(リモート信号表示機器)を使用すると、RS-485 Modbusで発電機をリモートで制御または監視できます。

GC-1Fの特長

- ▶ 自動開始または自動電源障害アプリケーション
- ▶ 電子または非電子エンジンの監視 (J1939)
- ▶ 発電機/バスバー制御&保護
- ▶ 8つのデジタル入力と3つのマルチ入力(デジタルまたはアナログ)、8つの継電器出力
- ▶ Modbus通信、RS485
- ▶ DEIFユーティリティソフトウェアで構成可能
- ▶ グラフィックディスプレイ(複数言語)
- ▶ プログラム可能なロジック (M-Logic)
- ▶ 追加操作盤 (AOP-2)
- ▶ 外部I/O (オプション)
- ▶ ATSコントローラのオプション

GC-1F型式承認

